

コースコード：IT-ITILPPO

税込価格：418,220円 (税抜価格：380,200円)

日数：5日間

前提条件

必須条件： ITIL®ファンデーション（バージョン3）、またはITIL®ファンデーションブリッジ認定資格

推奨事項： 必須ではありませんが、下記を満たすことで、より深くPPOを理解することができます：

ITの基礎知識があること、また2年から4年程度のITサービスマネジメント実務経験がある

IT関連用語の知識があり、自身の業務においてPPOがどのように機能しているか理解している サービス・プロバイダとしてサービスマネジメントにおける実務経験があり、下記のいずれかのプロセスに対し責任を追う立場にある（例：キャパシティ管理、可用性管理、ITサービス継続性管理（ITSCM）、情報セキュリティ管理、もしくは需要管理） ITIL®サービスライフサイクルのコア書籍、特にサービスストラテジおよびサービスデザインの内容を予め学習し、試験準備として12時間程度の自己学習ができる

受講対象者

ITIL®ファンデーション認定（バージョン3）、またはITIL®ファンデーションブリッジ認定資格をお持ちの方

PPOについて理解を深めたい方、自社におけるITサービスマネジメントの品質向上のためPPOに関わる活動の実践方法を学びたい方、以下のプロセスに携わる方（例：キャパシティ管理、可用性管理、ITサービス継続性管理（ITSCM）、情報セキュリティ管理、需要管理）

ITサービスマネジメントやその改善活動に携わっているITプロフェSSIONナルの方

次の役職や業務に就いている方：

ITプロフェSSIONナル、IT/事業マネージャ、IT/ビジネスプロセスオーナーなど

コース概要

本コースでは、ITIL®が提唱するサービスライフサイクルや計画立案、保護、最適化（以下PPO）のプロセスについて実践的な視点で5日間にわたり学びます。本コースはPPOプロセスにおける実務レベルの活動や方法、アプローチに焦点をあて、受講者がサービスライフサイクルを通して、これらのプロセスを実践できるようにすることを目的としています。また本コースは受講者参加型のシナリオベースの教育を採用し、受講者がITIL®ベストプラクティスの主要な原則を学び、認定試験に合格するようサポートします。

目的

ITサービスマネジメントを概念や知識だけでなく実践的に理解し、PPOプロセスがサービスライフサイクルにどのように寄与するか理解する

サービスを提供するためにPPOがなぜ重要なのかを認識し、どのようにPPOプロセスが他の段階のプロセスと関連するか理解する

PPOプロセスの活動、手法、および機能について理解する

PPOプロセスの活動や機能の導入や実践方法について理解する

PPOのパフォーマンス測定方法を理解する

ITセキュリティの重要性とそれがどのようにPPOをサポートするか理解する

PPOをサポートする技術および導入要件について理解する

PPOにおける課題や主要成功要因、リスクについて理解する

アウトライン



1. PPOの概要
2. キャパシティ管理
3. 可用性管理
4. ITサービス継続性管理
5. 情報セキュリティ管理
6. 需要管理
7. 役割と責任
8. 技術と導入に関する検討事項
9. 試験準備/模擬試験

【試験詳細】

必須条件：認定教育事業者による、PPOコースの修了
再試験時の必須条件：受講修了書などPPOコースの修了を証明できるもの
出題形式：シナリオベースの問題が多肢選択式で8問出題（持ち込み不可）
配点：それぞれ5点、3点、1点、0点（不正解）
試験時間：90分間
合格ライン：40点中28点以上（正答率70%以上）